

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
現代社会と福祉Ⅱ Contemporary society and welfare Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得必修 社会福祉士主任任用資格に係る科目)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会保障Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
山田 昇	講義棟2F	火・水・木9:00～16:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
前期履修科目「現代社会と福祉Ⅰ」で学んだ社会福祉の基礎理論・歴史・ニーズ・行財政等を前提に、社会福祉と関連政策（教育・住宅・労働政策等）組織・福祉サービス供給システム等について理解を深め、現代社会における社会保障・福祉の課題について理解する。				
授業の目標				
①社会保障・福祉と関連政策についての関係性を理解できるようにする。 ②社会福祉政策の構成要素と機能・役割が理解できるようにする。 ③社会福祉政策と地方自治体の役割及び現状と課題等が理解できるようにする。				
授業の方法				
主に講義形式で進める。 福祉コミュニティの形成と社会福祉の対応について事例研究を行う。				
学習の成果（学習成果）				
①社会保障・福祉システムが現代社会において不可欠であることが認識でき、説明することができる。 ②関連政策を学ぶことによって総合行政としての社会福祉の位置付けを理解し、説明することができる。 ③民間活力の活用等、行政と民間事業との関係を理解し、説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の進め方、留意事項、成績評価等） 現代社会と福祉政策の視点について			
第2回目	福祉政策の構成要素① 福祉政策の論点（社会経済情勢と景気の動向・財政問題）			
第3回目	福祉政策の構成要素② 福祉政策における国・地方自治体の役割			
第4回目	福祉政策の構成要素③ 福祉政策における民間企業と市場の役割			
第5回目	福祉政策の構成要素④ 福祉政策における国民の役割・住民参加			
第6回目	福祉政策の構成要素⑤ 福祉政策の手法と政策決定過程及び政策強化			

第7回目	福祉政策の構成要素⑥ 福祉供給サービスシステムの在り方		
第8回目	福祉政策の構成要素⑦ 福祉サービス利用システム・権利擁護 レポート作成「福祉政策策定の視点と背景について」※提出は第9回目の授業日		
第9回目	福祉政策と関連政策① 福祉政策と教育政策		
第10回目	福祉政策と関連政策② 福祉政策と住宅政策		
第11回目	福祉政策と関連政策③ 福祉政策と労働政策		
第12回目	福祉政策と関連政策④ 福祉政策と関連領域政策		
第13回目	福祉政策と福祉援助活動の推進・地域福祉の推進		
第14回目	福祉政策と地方自治体の対応		
第15回目	地域政策と社会福祉政策の課題と展望 授業のまとめ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		20%	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。
レポート		10%	第1回～第8回までの講義内容に関するレポートとする。最高評価であるSは意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。
調査報告書			
小テスト			
試験		70%	論述、記述式の試験を行い評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
教科書：「社会福祉概論Ⅰ」全社協出版部 参考書・参考資料：授業の都度指示、または資料を配布する			
履修上の留意点・ルール			
前期「現代社会と福祉Ⅰ」のシラバスの記載の通り			